

## 室蘭の鳥



室蘭市医師会  
市立室蘭総合病院

佐々木 智子

鳥が大好きだ。私が勤務する室蘭は工場夜景が有名だが、実は自然豊かで、200種類以上の野鳥が観察できる、バードウォッチャーとしてはたまらなくうれしい場所でもある。病院からも見える測量山は、アイヌの人たちが漁から帰る際の目印だった。野鳥にとってもこの山は目印であり、渡り鳥にとっては中継地、繁殖地でもある。

エゾセンニュウという鳥をご存知だろうか。室蘭で初めて出会ったお気に入りの鳥だ。フィリピンやニューギニアで越冬し、国内では北海道でしか繁殖しない夏鳥である。鳴き声の特徴的で、「トッピンカケタカ」と例えられるが、私にはもう「じょっぴん掛けたか？」としか聴こえない。毎年6月頃になると、病院からの帰り道、近くの林から「ジョッピンカケタカ」というけたたましい声が聞こえる。鳴き方にも差があり、「ジョ…ジョッピン…ジョッピン…」と繰り返し、なかなか「カケタカ」にたどり着けないもどかしい個体もいれば、「ジョッピンカケタカシラ？」と語尾が長い丁寧な個体もいる。鳴き声があれば大きいのに、姿はほとんど見せないという、警戒心が強いのか弱いのか分からない一面を持つ。

桜が咲く頃には、病院近くの林に棲むウグイスが「ホーホケキョ」と春の訪れを告げる。初めて室蘭赴任となった年には、あまりに定期的に繰り返し鳴くので、病院入口に新たに導入された音声センサーかと思った。通勤途中にあるナナカマドの木には、夜になると30羽を超えるハクセキレイが眠っている。室蘭駅前の広場にはタクシーの運転手からエサをもらおうと人馴れしたスズメの群れが待ち受けている。珍しい鳥も好きだが、私はこのスズメたちも大好きだ。ある時は空を見上げたまま、ある時は地面にいるヒナを見つけ、しゃがんだまま微動だにせず、という間抜けな姿を通りかかった病院の職員に見つかり、弁明に時間を要し、かつあまり理解してもらえないことが悩みである。

野鳥観察は診断学に通ずるところがある。珍しい鳥は特に、探そうと思わないと見つからないことが多い。その鳥の配色、好む場所、鳴き声などの知識、そして探し出そうとする忍耐力が必要だ。稀な疾患の場合には、その疾患の存在そのもの、そして疾患の所見を見つけ出せなければ診断すらできない。スズメのようにコモンな疾患を適切に診断すること、そしてエゾセンニュウも見つけ出すくらいの意気込みで稀な疾患も診断できるよう、今年も鋭意努力する所存である。

## トリ？ ヤギ？



函館市医師会  
独立行政法人国立病院機構函館病院

木村 伯子

新年おめでとうございます。

本年は年女に相当するそうですが、原稿のご依頼を受けた時に「アレ 私はヤギのはずでは？」と一瞬思いました。「何を馬鹿なことを」とお思いでしょうが、先生方はご自分の前世が何者だったのか想像されたことはございませんか？

そもそも十二支というものが何故できたのかは存じませんが、私は勝手に前世ではその動物だったか、その動物に何らかの意味で似ているのだろうと思っておりました。若い時には自分の干支が何であるのかはほとんど気にしたことがありませんでしたが、ここ2年ほどは私の前世はヤギだったに違いないという思いが強くなりました。残念ながらヤギは干支に入っていないので、羊でも良いようなものですが、羊はぼつちやりと可愛いすぎるような気がしますし、それよりも考え深そうな顔をしているヤギの方が自分に向いているように思われます。

私は自分でも不思議なほど草の匂いが好きで、夏の芝刈り後の庭や病院の構内、里山等を歩いていると、思わず前かがみになり顔を地面に近づけて草の匂いを嗅いでいる自分がいてびっくりします。そして、この草を食べられたらさぞかしおいしいだろうなとまるでヤギの気持ちになったりするのは。それなら、何故草の大好きな牛ではないのかですが、それには重要な意味があるのです。

ある時、某イタリア食材店が出しているレストランで出されたオリーブオイルをパンにつけて食べた瞬間、広い草原を吹き渡る緑の風を連想したのでした。それは衝撃的でした。それ以来、そのオリーブオイルにのめりこみ、それを付けたパンが毎日の朝食になってしまいました。その後さまざまなオリーブオイルを試しましたが、他のものにはかすかに緑の風を感じるものはあっても、圧倒されるほどの香りのものはありませんでした。そのオリーブオイルはイタリアのシチリア産のものですが、シチリア島にいるヤギはこの香のする草が大好きに違いないと、私は行ったことの無いシチリア島のヤギのつもりでいるのです。聞くところによると私だけでなく、まとめて大量に購入する大ファンのお客がいるとのこと、内心やはり同類のヤギ族がいるらしいと心強く思っているのです。

今年もまた緑の風が吹き渡るオリーブオイルを食べ心身ともに健康に過ごしたいと思っておりま。先生方も良い一年をお過ごしください。